

2019 年度歴史地震研究会 第 4 回幹事会議事録

場所:Web 会議

日時:2020 年 4 月 24 日(金) 17:00~20:20

出席者:松浦(会長), 堀川(副会長), 諸井(財政), 盆野(行事), 加納(広報), 行谷(編集出版), 中村(監査), 植竹(監査), 大邑(総務)書記

1. 入退会者の承認及び 2019 年度会費の受取状況 (財政)

【資料 1】 1. 入退会者の承認及び 2019 年度会費の受取状況

- ✓ 入会者 2 名, 退会者 1 名, 休会申請者 1 名, 会員特典復活 3 名, 登録内容の変更 2 名
→入退会者を承認, 休会申請は所定の書式でないため再度確認.
- ✓ 現在の会員総数 279 名(休会者 3 名含む)
- ✓ 2019 年度会費受取状況: 240 名 (87%), 未納者: 37 名
- ✓ 2019 年総会において会員特典停止の 2 名が 2018 年度会費を納入. ただし 2019 年度会費は未納.
- ✓ 休会者は現時点で 3 名いることを確認→今年度総会で報告

2. 2020 年伊賀大会の準備状況について (行事)

【資料 3】 第 37 回歴史地震研究会伊賀大会 準備状況②

【資料 4】 2020 年伊賀大会収支計画

【資料 5】 (別添) 第 37 回歴史地震研究会(伊賀大会)にかかる開催日程の変更について(依頼)

【資料 6】 (別紙 2) 第 37 回歴史地震研究会(伊賀大会)のお知らせ(第 3 報) 案

- ✓ COVID-19 感染拡大に伴う伊賀市主催イベント(忍者フェスタ)の延期に伴い, 市より大会日程の変更について要請があった. これを受け入れ 9 月 19 日~22 日の予定を 26 日~29 日に変更した.
- ✓ 日程変更にかかる伊賀市長からの依頼文を確認【資料 5】
- ✓ 日程変更に伴い 3 月 31 日に会長からメールにて会員に通達し, HP を見え消しで修正.
- ✓ 会場や設備に変更はないが使用日時変更を申請 4/21 許可(使用料は全額減免)
- ✓ ポスターパネルのサイズについては後日再度確認
- ✓ 伊賀市, 伊賀市教育委員会, 三重県の後援は承認済だが, 日程変更に伴い変更届が必要, 伊賀文化産業協会, 伊賀上野観光協会は今後申請予定(COVID-19 対策により現在閉鎖中)
- ✓ 公開講演会の講師は 3 名に依頼予定(2 名は内諾済)ただし, COVID-19 の状況によっては出張できず辞退の可能性あり. その場合に備え伊賀市教育委員会文化財課を確保.
- ✓ 関西大の林会員に講演を依頼することを決定(ただし 9 月時点での感染状況によることを前提で)
- ✓ 講演会前の会長挨拶で一般向けに歴史地震研究の意義について解説する時間を設けることを確認
- ✓ 現時点での発表申し込み 3 件(感染状況で出足が悪い可能性もある).
- ✓ 講演要旨集の印刷会社については再度検討することに決定
- ✓ 懇親会会場も日程変更して予約済. 会費 6 千円程度を想定. 伊賀市長が参加(招待)することを決定.
- ✓ 巡検は日程変更になった関係で閉館の見学先もあり若干変更
- ✓ 岩倉峡公園の見学について道幅の関係で大型バスからマイクロバスに乗り換えを検討
→歩いて 10 分程度のためマイクロバスは不要とし, 徒歩で移動することに決定
- ✓ 第 3 報の案を提示→6 月 10 日締切で余裕があるため逐次チェックと追加修正をおこなう
- ✓ チラシを作成し市内施設に配架. 伊賀上野城で開催の展示とあわせてプレスリリース(新聞)を予定

- ✓ 開催中の感染症対策(マスク着用・手指消毒・座席間隔・懇談会のみ開催しない等)
 - 懇親会会場のキャンセル料は約1ヶ月前であれば発生しない(開催判断の最終は8月中旬頃)
 - 会場は市の施設であるため市が閉鎖する可能性もある
 - 研究発表の申し込み数によって規模が変わるので人数が少ない場合も考慮(収支など)
 - 最終判断はお盆前だがそれ以前にも何回か判断をする機会を設ける
 - 講演申し込みは通常通り5月末締切で行うことを決定
 - 消毒液を会で準備, マスクは着用を前提とするが一応購入しておき無い人に販売
 - 公開講演会の一般参加者には, 当日受付で居住地と氏名を記入, 筆記具などは消毒.
 - 収支計画にコロナ対策費(消毒液・マスク等)を計上
 - 2021年は国体があるため, 今年開催できなかった場合, 来年開催は難しい.
 - 現時点では開催の方向で進めるが, 今後の状況次第で, 懇親会中止, 公開講演会中止, すべて中止などを判断する.

3. 『歴史地震』の編集について(編集出版)

【資料7】3. 「歴史地震」の編集について

【資料8】別紙1 『歴史地震』35号受理原稿

【資料9】別紙2 前田印刷見積書

【資料10】別紙3 歴史地震研究会会誌編集規定(案)

- ✓ 35号の編集状況. 現段階: 論説11, 資料4, 報告4, 訂正2, 要旨49, 381ページ(予定)
 - 論説: 取下げ1, 却下1, 受理判断待ち5 資料: 取下げ1, 受理判断待ち1
- ✓ 報告1編について現在委員会内で対応を検討中
- ✓ 4月末に最終原稿, 5月中旬著者校正, 6月中旬印刷原稿確定, 6月26日入稿期限, 7月頭初稿出しを最終チェック, 7月末出荷(感染症の影響は不明).
- ✓ 現段階の見積額は795,500円(ただし発行頁数は暫定値のため大幅に変わる可能性アリ)
- ✓ 発行部数は現時点で図書館分125部, 会員分および予備285部の計410部とする. ただし次回幹事会までに入会者などがあった場合, 再検討することを確認.
- ✓ 歴史地震研究会功績賞の英訳について, 学術的な功績だけでなく会への功労の意味も含めたものにしたい. 著者校正までには決定したいので次の幹事会までに検討することを決定(なお案として「The Distinguished Contribution Award of the Society of Historical Earthquake Studies for 2019」「the ●th Distinguished Contribution Award of the Society of Historical Earthquake Studies」が提示された)
- ✓ 研究会日より原稿について総務幹事が用意することおよび, 新会則を掲載することを確認.
- ✓ 「報告」カテゴリーの却下について, 現状では「報告」について編集側が掲載不可とできるような仕組みが編集規定にないため, 規定を変更したい.
 - 次回幹事会で具体的な変更案(報告の受理について)を編集委員会から提案することを確認

4. 広報活動について(広報)

【資料6】(広報活動に関する報告)

- ✓ 随時mushaおよび研究会メーリングリストの登録・更新を実施中
- ✓ ホームページの更新(伊賀大会の日程を修正した第2報掲載, 幹事会・総会の議事録掲載, 34号PDF版の掲載)を行った.

- ✓ 大会の申し込みフォームを作成した
- ✓ 関連学会などへ伊賀大会の広報（日程修正依頼等）をおこなった
- ✓ JST J-GLOBAL のリンク設定に関して問い合わせがあり広報から回答した
- ✓ 今後の作業として 15～17 号の掲載，前回幹事会で決定された musha の整理をおこなう。
- ✓ 株式会社エディット（小学館）から書籍の校閲依頼があった。現在具体的な内容について連絡をとりあっている状態。
→具体的な事が判明次第，再度検討することを確認

5. 2021 年大会の開催地について

- ✓ 苫小牧大会を検討。開催時期について他の学会の日程との兼ね合いを調整中。
- ✓ 伊賀大会で具体的な日時・場所を会員に連絡する必要がある，次回幹事会までに開催案を作成することを確認

6. 2020 功績賞について

- ✓ 本幹事会前に開催された功績賞選考委員会にて，本年度は COVID-19 の感染拡大に伴い大会開催が危ぶまれること，開催された場合も受賞者を会場に招待するリスクがあることを考慮し，2020 年度は功績賞を選出しないことを決定した。
→決定を承認
- ✓ 功績賞選考のあり方について，幹事会メンバーから構成される功績賞選考委員会による選考以外に，第三者からの推薦や公募制度があっても良いのではないかとの意見が出された。
→HP に推薦なども受け付ける旨を掲載することを検討

○次回幹事会は 6 月 4 日 (木) 17 時～開催の予定（ZOOM もしくは状況が許せば会議室で開催）

以上